115期1学年通信

2018年12月21日発行　　第17号　担当　大佐賀　美弦

今回は、1Bの化学を教えている影の薄い大佐賀が担当です。

いよいよ明日から冬休み。冬だから行動の範囲は狭まるだろうけど、まとまった時間が取れるので、折角だから考えて欲しいこと、やってほしいことを書きます。今後の予定やら実力テストの範囲、11月の模試で紙幅を取られてしまったので、前回よりも短く伝えます。二つ。

1　やらされていると思ってんの？

「十六歳の教科書」という本の開講の辞というところに、**なぜ学び、なにを学ぶのか**、という文章がある。少し長いが引用する。

１６歳のきみに聞きたいことがある。

きっときみはいま、」自分も高３になったら受験勉強して、どこかの大学に行くんだな」と思っている。ひょっとすると、もうなんとなく志望校を決めているかもしれない。

それできみは、なぜ大学に行くのだろう？

親や先生が行けというから？　　友達も行っているから？　　高卒では就職に不利みたいだから？

もし、きみが「たったそれだけの理由」で大学に行くというのなら、行く意味なんかない。

なぜなら、これらはすべて「自分の外にある理由」だからだ。

考えてみてほしい。親や先生、それから友達に自分の将来を決められるなんて、きみはそれでいいのか？おかしな話だと思わないのか？

そして「大卒じゃないと就職に不利だ」というのもウソだ。高卒はもちろん、中学卒業後に職人の世界に入り、そこから誰にも真似できないような素晴らしい業績を上げている人は、世の中にゴマンといる。

要するにきみは、「ただなんとなく、みんながそうしているから」大学に行こうとしているのだ。

そしてきみは「ただなんとなく、みんなそうしているから」勉強しているのだ。

あれほどきみたちを悩ませる国語も数学も英語も、そして理科も社会も、そんなあやふやな理由で勉強しているだけなのだ。

もちろん、大人たちも勉強はする。

ビジネスマンがマーケティングの勉強をしたり、弁護士が法律の勉強をしたり、コックさんが新しいメニューの勉強をしたり。

でもこれらは、彼らにとって今日の仕事、明日の仕事に必要な勉強ばかりだ。勉強する理由、勉強しなければならない理由は、しっかりとある。

だから大人たちは、国語も数学も勉強しない。せいぜい英会話スクール似通う程度で、物理や地理を勉強しようとする大人なんて、ほとんどいない。そんなもの、今日や明日の仕事にはなんの関係もないからだ。

さあ、問題はここだ。

きみたちはなぜ、大人たちもしないような勉強をしているんだろう？

きみたちはここで、なにを学ぼうとしているんだろう？

もし、きみたちが高校３年生になったら、こんなことを考える余裕はなくなる。そんなことを考える時間があったら、ひとつでも多くの単語を覚え、ひとつでも多くの計算式をこなすことが求められる。

だから、１６歳といういま、きみたちに真剣に考えてほしい。自分が勉強する理由、そして自分が勉強するものの正体を。

２　読書の習慣を身に付ける（最後のチャンス）

授業の時に早めに行くと休み時間だから文句はないのだが、かなりの人がスマホを片手にシュッシュッとやっている。何が楽しいか、全く理解出来ない。のぞき込むと大半はゲームである。暇だねえ。僕も担任をしていたときは、国公立大に入学したいのなら、高校三年間で3000時間、東大、京大なら4000時間の学習時間が必要で、目安は週21時間と週単位で考えなさいと言ってきた。ベネッセは合格のためには平日2時間、休日4時間が必要で、志望校決定が早ければ早いほどよいと言う。何をして難関大学と言うのか分からないが、そんなことでは生ぬるい。１で書いたように、自分の内なるスィッチが入らない限り「まぐれ」で合格してもその後が続かないだろう。特に北大理系のように一括して合格させ、1年間の成績でもって進学学部学科先を振り分ける大学は。いわゆる「受験知」だけでなく、「自頭」が必要だろう。そのためには、地道に本を読む習慣を身に着けることだ。

高校生までに良き本と出会わなければ、読書の習慣が身に付くには、ドリームビーチの星の数ほど多い砂粒からたった一粒を探し出すよりも難しいと思う。親が意識的に子ども達にそのような習慣を身に付けさせようと思っても、それはなかなか難しいことだ。実際、家庭教師をしていたときに、ある母親から子どもに読書をさせたいがどうしたらよいかと相談を受けた。居間には週刊誌しかなかったから、まずはお母さんが本を読み始めたらいかがですかと答えた。家庭では難しいかもしれない。やはり学校という場において、良き教師との出会いがあればと思う。

この冬休みは、読書の習慣を身に付ける一歩とすること。A組には担任が選んだ本が何冊か棚に並んでいる。学級通信には良質な読書案内が載っている。とてもよい選択だと思う。他のクラスの生徒ものぞいてみるといいだろう。図書室にもたくさんの面白い本、興味深い本がある。まずは、読めそうだな、面白そうだなという観点でもよいから、担任に紹介してもらうのでもよいだろう。いずれにしても、君たちにとって読書の習慣が身に付く最後のチャンスだと思う。この時期を逃してしまうと、**もう二度とそういう日はやって来ない。**

今　後　の　予　定

12 月 22 日(土)～1 月 17 日(木)　冬期休業

12 月 23 日(日)～28 日（金）　冬期講習前期　　1 月 8 日(火)～13 日（日）冬期講習後期

1 月 18 日(金)　いわゆる始業日　実力テスト、進路調査　　1 月 19 日(土)　進研模試

1 月 20 日（月）実力テスト　　1 月 26 日(土)　ハイレベル模試　　（裏面に続く）

実　力　テ　ス　ト　の　範　囲

国語　　1 評論　2 小説　3 古文　4 漢文

＊１年第３回進研模試レベルの初見の問題を出題

＊２０１６・２０１７の進研模試過去問が冬休み課題になっているので、実力テスト・進研模試対策としてもしっかり取り組む

＊「古文単語330」のｐ１３４~ｐ１５１からも出題　　*＊「漢文読み・意味確認プリント」からも出題*

数学

まずは**冬休みの課題（プリント５枚）**と**冬期講習**にしっかり取り組みましょう。**実力テストは課題から半分程度出題**します。**２次関数は高校数学の根幹**をなすため、１１月の模試分析に記したアドバイスを参考に基礎力・応用力をつけていきましょう。

	分野	形式	配点
1	数と式、２次関数、三角比、データの分析 場合の数と確率、平面図形、の性質	小問	４０点
2	数と式	記述	１５点
3	２次関数	記述	１５点
4	三角比	記述	１５点
5	場合の数と確率	記述	１５点

英語

・速読英単語　　Chapter１３～２０　７０ページ～１１２ページ　　３０点分
・教科書 ELEMENT　Further Reading１，Lesson５
　教科書６２ページ～６６ページ、７０ページ～８１ページ　　５０点分
・リスニング　　１０点分
・自由英作文　　１０点分
　速読英単語は定期考査の出題方法に準ずる
　教科書はプリントをよく学習してください。
　実力テストの成績も英語に関しては成績に加味されます。

11　月　模　試　の　検　証

全体

7 月の模試と比較すると平均偏差値で 0.4 ポイントダウン。過去年度と比較すると 2015・2016 年度より 0.5~0.8 ポイント高いが、2017 年度と比べると 1.2 ポイント低い。気になるのは、7 月模試では「中堅国公立大学合格レベル」の平均偏差値 55 以上 60 未満の層が例年以上に厚く期待されていたが、この層の人数が大きく減った一方、「4 年制大学挑戦レベル」偏差値 45 以上 50 未満の層が増えていることだ。平常講習の受講者も前期に比べて後期は半減した。冬休みの講習も後期受講者は昨年の半分程度だ。全体に進路や学習に対するモチベーションが下がっているのではないか。それでも今も多くの生徒が国公立大学を希望している状況なので、この冬休みにしっかり学習に取り組んで取り戻そう。

国語

7月模試では平均の全国偏差値が57.0と例年以上に高得点であったのが、今回は1.1ポイント下がり55.9であった。各偏差値帯における苦手分野を分析すると、現代文「評論」の分野においては、偏差値65以上の上位層の平均点は同じ階層の全国平均を下回り、偏差値が上がれば上がるほど全国との差が開いている。特に上位層で差が出る記述式の問題で点が取れていないようだ。週末課題の『ウィンステップ』に毎週しっかり取り組んで記述力を身につけよう。一方、漢文は各階層ともわずかではあるが伸びている。重要漢字の読みと意味のプリントが役に立ったと思われる。繰り返し復習して忘れないようにしよう。

数学

すべての学力層で「２次関数」と「平面図形」の得点率が低い状況にあります。特に２次関数は２・３年と学んでいく上で基礎となります。そのため冬休み直前の授業でも演習に時間を割きました。冬休みも「２次関数」の力をしっかりつけてください。なお休み中の課題には大小９つの「２次関数」の問題を用意しました。まずはこれらを確実にこなし以下を参考に２次関数を補強していきましょう。

・２次関数の基礎力に不安がある人
　サクシード「ｐ４４～ｐ４７」、「ｐ５２～ｐ５５」の「A問題」を解き直しましょう。
・２次関数の応用力をつけたい人
　サクシード「ｐ４２～ｐ４９」、「ｐ５２～ｐ５９」の「＊がついたB問題」に取り組みましょう。
・２次関数の実践力をつけたい人
　サクシード「B問題」を解き直し、また「発展」と「ｐ６４～ｐ６５」の「補充・Challenge」にも挑戦しましょう。

英語

平均点　４４．１点（１００点満点）　全国偏差値　５５．２（７月模試　５４．４）
偏差値７０以上　　１７名（７月模試　　１３名）
偏差値６０以上　　６９名（７月模試　　６２名）
偏差値５０以上　１６５名（７月模試　１６１名）　　いずれも累計の数です

・全国偏差値は過去３年間の先輩方と比較してもさほど変わらない数値である。
・偏差値７０以上の成績最上位者１７名というのは過去４年間の中で最多である。偏差値　６８以上７０未満という生徒が７名おり、最上位層に入る可能性が高い。
・分野別

リスニング	本校平均１１．１	（全国平均９．６）【１８点満点】
発音・アクセント	本校平均　１．１	（全国平均１．０）【４点満点】
文法・語法	本校平均　４．３	（全国平均３．６）【１０点満点】
長文読解①	本校平均１１．９	（全国平均９．４）【２４点満点】
長文読解②	本校平均１０．０	（全国平均７．３）【２２点満点】
表現力	本校平均　５．７	（全国平均４．４）【２２点満点】

・いずれの分野も全国平均を上回っている。
・冬休み中、語彙力をアップして講習や実力テストに向けての努力を通して文法力や長文　読解力を高めて、１月模試において更なる飛躍を期待している。